

加 佐

学校教育目標

『 仲間とともに 夢と希望をはぐくみ 学びあい 認めあい 鍛えあう生徒の育成 』

学校だより 3月号
平成30年3月1日
舞鶴市立加佐中学校
TEL 83-0004 FAX 83-3201



E-mail kasa-jhs@kyoto-be.ne.jp

オリンピック選手がよく口にする“感謝”



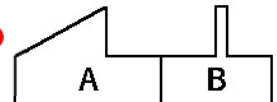
オリンピックに出場するだけでも大変なのに、更にそれに加えメダルを獲得する選手なんて本当にすごいです。ほんの一面だけですが、メディアが伝えるエピソード等を通して選手を知ることができます。その中で、檜舞台に立つまでの間に、選手の内面が大きく変わる過程にいつも感動します。色々な挫折を味わいながらも自分を律し、厳しいトレーニングを積み重ね、最高のパフォーマンスを発揮する姿に熱いものを感じます。この陰には、オリンピックを目指したものの出場できなかった多くの人達の悔しさも背負っているはずです。インタビューを受けると必ず選手は“感謝”の言葉を口にします。本当は観戦している方が、選手から多くのエネルギーをもらっていて逆に“感謝”をしなければなりません。勿論オリンピック出場だけが、人としての価値を決めるものではありません。自分を信じ諦めずに突き進んだ延長線上の一つの結果としてオリンピック出場があるのでしょう。選手は、時には厳しく自分の前に立ちはだかり壁の役割をしてくれた人も含め多くの人々の支えがなければ乗り越えられなかったことが分かっているから“感謝”の言葉が自然に出るのでしょう。今月15日には、3年生が卒業します。3年生は、加佐中学校を立派に盛り立て、よく頑張ってくれました。先輩からのバトンをしっかりと後輩に渡してくれました。卒業後、それぞれが選んで歩む道は違います。平坦な道なんてあり得ませんし、道があるかどうか分かりません。自分の人生なので、努力するのは当たり前として、人への“感謝”を忘れなければ道は必ず開けると信じるだけです。『が・ん・ば・れ！卒業生！』

本校が目指す生徒像

知；真面目に考え判断力のある子
徳；思いやりを持って助け合う子
体；健康でたくましく行動する子

清掃の神様がチェックする箇所は？

右の図は、AとBの形をした床を上から見たものです。このAとBの場



所を二人で分担して清掃することになりました。床面積の大小等を比べ、人情としては楽な方を清掃したいものですが、今回は平和的な話し合いで二人の清掃場所が決まりました。共に一生懸命、清掃に取り組み、床は綺麗になりました。そこに突然ですが、清掃の神様がお出ましになりました。二人は互いに「神様！私の方の床がピカピカですね。」と先ほどの平和的な雰囲気は一変しました。一方が「この角を観てください。ゴミが獲りにくい所なので・・・」と言いかけた途中で、静かに聴いておられた神様は、話をさえぎられました。「私が清掃でチェックするのは、そんな所ではありません。私はAとBの境目が一番綺麗になっているのかを観ます。」と低い声で言われました。二人は、清掃は単にゴミを取るだけではなく、相手のことも考えられるように、心を綺麗に磨くことだと分かりましたとき・・・ところでなぜ境目？



校長 山口 茂
教職員一同